

# 熊本県 益城町

稲垣 裕也（企画部）



## 担当業務の内容

私は、東京都を通じての職員派遣により、平成 28 年 5 月 13 日から 20 日まで、平成 28 年熊本地震で被害を受けた熊本県益城町に行ってまいりました。担当支援内容は以下のとおりです。

### ○被害認定調査

地震により被害のあった建物について、全壊、半壊等の「被害の程度」を認定する調査です。益城町では建物被害が大きかったため、町内の全棟（約 16,000 棟）が対象です。



（多くの家屋が倒壊している様子）



（瓦礫が道をふさいでいる様子）

## 苦労したこと・工夫したこと

私の役割は、被害認定調査を行って判定するのみであり、その結果を益城町民に説明することはないため、最後まで結果に責任を持ってません。判定の結果を説明するのは益城町役場の方になるため、益城町の方針に沿った判定を出すよう、また、やりっぱなしの仕事とならないよう努めました。これは、調査棟数を多くこなさなければならない中ではついおろそかになるため、稲城市を代表して派遣されていることを肝に銘じ、注意してきたところです。

## 印象的なエピソード

益城町の案内人 1 名と派遣者 2 名で一組となり、担当地区の調査を行いました。その案内人の方と長時間一緒にいて、多くのことを話すことができたのは貴重な財産です。その印象としては、益城町役場の方を含め、皆さんがとても前向きで、とにかくやれることはやっていく姿勢を強く感じました。仕事にプライベートにと、大変な折になかなかできることではないと思い、その精神力に感嘆いたしました。

## 所感

現地は写真のとおり、大量の瓦礫等が残っており、普段どおりの状況に回復するには、まだまだ時間がかかります。小さいことでもいいので、できることを少しでもやっていければ、それが被災地の手助けになると思いますので、今後とも自分にできることは協力していきたいです。

結びに、被災地の方々のご健康と一日でも早い復興をお祈り申し上げます。